

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	セカンドキャリア支援促進事業		事業開始年度	平成20年度		作成責任者
担当部局庁	スポーツ・青少年局		担当課室	競技スポーツ課		競技スポーツ課長 芦立 訓
会計区分	一般会計		上位政策	我が国の国際競技力の向上		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計 画、通知等	スポーツ振興基本計画 (平成12年9月13日策定、平成18年9月21日改定)		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	トップアスリートが世界の頂点に向け安心して競技に専念できる環境の整備をさらに促進していくために、競技者の競技生活初期の段階からセカンドキャリアの重要性や問題等についての啓発事業を行い、競技引退後の不安の軽減やキャリア意識の向上を図り、競技活動の安定化及び活動基盤の環境整備に資する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	トップアスリートを目指すジュニア競技者やその競技者の競技活動を支える人々に対し、キャリア意識の向上やキャリアデザインの重要性等について、ガイダンス・セミナー等で提供するプログラムを企画・立案し、セミナー等を実施する。					
実施状況	委託先については、公募・企画競争により財団法人オリンピック委員会が採択案件として選定、委託契約を締結。 1. プログラムの企画・立案(チームビルディングの技法、選手の自主性を育む指導法等の開発) 2. ガイダンス・セミナー等の実施:ジュニア指導向け公開セミナー(2回)、合宿等でのジュニア指導者向けセミナー(8回)・保護者向けセミナー(1回)・ジュニア選手向けセミナー(12回) 3. 報告書の作成					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	—	7	7	0	—
	執行額	—	6	6		
	執行率	—	85.7%	85.7%		
	総事業費(執行ベース)	—	6	6		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	実際にセミナーを参観し、プログラム内容や参加者の様子(満足度等)を確認することができた。また、団体から提出された委託事業完了報告書において、支出先・用途を把握し、委託費の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。				
	見直しの余地	・セミナー等の対象者について十分研究し、最も成果が出る対象者を見極めなければならない。また、委託団体の取組の成果を全国に普及できるよう検討する必要がある。 ・より多くの団体から応募があるよう、公募期間の確保や公募条件及び方法等の見直しを行う必要がある。 ※平成21年度限りで廃止。見直し内容については、他事業へも反映させる。				
予算監視の効率化	本事業の当初の目的は達成されたと判断し、平成21年度をもって廃止している。					
補記	【スポーツ振興基本計画】 Ⅱスポーツ振興施策の展開方策 3 我が国の国際競技力の総合的な向上方策 A 政策目標達成のため必要不可欠である施策 (4)競技者が安心して競技に専念できる環境の整備					

文部科学省  
6百万円

職員旅費0.1百万円を含む  
※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

トップアスリートを目指すジュニア競技者やその競技者の競技活動を支える人々に対し、キャリア意識の向上やキャリアデザインの重要性等について、ガイダンス・セミナー等で提供するプログラムを企画・立案し、セミナー等を実施する。



【公募・委託】

A. 財団法人日本オリンピック委員会  
6百万円

キャリア意識の向上やキャリアデザインの重要性等について、ガイダンス・セミナー等で提供するプログラムを企画・立案し、セミナー等を実施。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

A.財団法人日本オリンピック委員会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
教材等作成費	ジュニア指導者研修教材作成、自己分析カード作成等	2			
諸謝金	セミナー講師謝金	1			
旅費	セミナー講師等旅費	1			
雑役務費	アンケートデータ入力業務等	1			
その他	報告書印刷、事務用品等	1			
計		6	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)